

(要望等)

問17 津波防災対策に関して、特に要望すること、気づいたこと等があればお書きください。  
(紙面の都合上、割愛した表現、あるいは意見の一部を省略しております。)

1	種市町	八木地区の防潮堤の整備を希望する。小子内、種市役場付近の防波堤の様な、高さのある防波堤であるべきと思う。20年前にあった砂浜はなく、道路に波があがっている状態です。海岸より500メートルと離れていない家々は今のまま防波堤の整備がなされていない場合は以前と同じ被害を繰り返すと予想される。(種市町 50代 女性)
2	種市町	防災無線が海岸にいる人に聞こえづらい。もっと海岸付近に設置してほしい。(種市町 30代 男性)
3	種市町	津波防災も大事であるが、防潮堤があまり高くなり海を見ることが難しくなったし、海岸での仕事が大変しくくなり困っています。(種市町 60代 女性)
4	種市町	私たちの村は津波に対していちばん多くの被害があったと聞いておりますが、防潮堤なども少なく、もしもの時どうなるか、また、水門も津波があった場合に役に立ちそうでないと見ております。(種市町 60代 女性)
5	種市町	コンクリートなどでの防災に疑問。大事なのは波の力を逃すシステムである。波に対して直線的な堤を見るが、波に対して斜めにし、力が集中する場所は砂浜に合わせる。波高制御などを行うのもいいと思う。見た目も灰色の土地では観光でも面白くない。木々を植えたりして変化させるのも大事。(種市町 20代 男性)
6	種市町	無線等を発表しても、雨や風が吹けば全く聞こえず、万が一の時に不安である。特に震度が小さい時など油断をしやすいため、情報がきちんと聞けるか心配である。(種市町 30代 女性)
7	種市町	防潮堤がなかなかできません。造ることにより景観は変わってしまい残念ではありますが、命にはかえられない。何かあってからでは遅いので、早急に防波堤の設置を望む。避難場所まで急な階段があり、お年寄りや高齢者はのぼれない。夜間照明がない。夏場は樹木におおわれてうっそうとしていてのぼれない。避難経路の日常的な点検、整備が必要。(種市町 30代 女性)
8	種市町	沿岸部住民にとって、過去に被害の厳しい現実があり、“万一” いつか‘津波’が来る、この不安がある。これに対応できる(移転等)人はまだしも、不可な人はこの“いつか”という不確定要因に怯えている。沿岸住民の願いは、津波に対する恒久的な防災対策をお願いしたいということに尽きると思います。(種市町 50代 男性)
9	種市町	学校・家庭での防災教育に力を入れてほしい。(種市町 50代 女性)
10	久慈市	防波堤工事が中途半端で終わっているの、急いでほしい。海岸に近いので心配です。(久慈市 40代 男性)
11	久慈市	防災行政無線のスピーカーの音(声)が聞きにくい。(久慈市 60代 男性)
12	久慈市	テレビ等による地震の震源地、津波情報等が約10分~15分くらいかかっているの、もっと早く出してほしい。(久慈市 70代 男性)
13	久慈市	避難場所に指定されている所は家から遠く近所の人達は誰もあそこまでは行かない、と話したりしたこととか(母が言った)広い地域をひとまとめに決められても実際には無理だと思う。(久慈市 40代 女性)
14	久慈市	久慈地区にも、もう少し地震観測、津波観測のシステムを充実して住民に情報を提供してほしい。(久慈市 20代 男性)

15	久慈市	子供達に伝えておくべき事柄と思います。学校やほかの教育現場での指導、歴史資料、フィルムを活用した映画作成等で記憶に残るものを岩手県の財産とすべきです。(久慈市 30代 男性)
16	野田村	明治又は昭和の津波、どちらも春先の寒い時期に発生しているので、避難場所に建物をほしいと思う。(野田村 70代 男性)
17	野田村	防潮堤や水門等の整備が必要。(野田村下安家地区)(野田村 40代 男性)
18	野田村	津波避難訓練について、当地区においても年々参加者が減ってきているような気がします。いつかは、大きな津波がくると思っています。もっと防災意識をもたせるようにしてもらいたい。(野田村 40代 男性)
19	野田村	一人住まいの方々が避難したかどうか確認の必要があると思います。(野田村 60代 男性)
20	野田村	野田村の海岸は防潮堤が大部分整備されておりますが、下安家部落(安家川)だけ残っており、40年以前から村の役場等にはお願いしております。今度やっと避難所が出来ます(平成13年)が、三陸沖の津波等があると、大部分の家が流失します。(野田村 70代 男性)
21	田野畑村	正確に迅速に正しいデータに基づいて有線等を利用し、村民全員に知らせるシステムを完全なものになるよう、手抜きのないよう、常に万全を期してほしい。役場の宿泊者により、差のないような教育、訓練をしておいてほしい。(田野畑村 60代 男性)
22	田野畑村	観光、つり客が消防、漁協の指示に従わない。このことについて、地域のいずれかの団体に強制力を持たせていただきたい。(田野畑村 40代 男性)
23	田野畑村	避難標識が少ない。避難場所に建物がほしい。冬季に困らないように。過去の津波にも耐えられるような防潮堤を早急に作ってほしい。(田野畑村 40代 男性)
24	田野畑村	観光施設の避難経路及び、道路の整備強化を願います。地元民はよく知っていると思うが、県外の観光客等の安全のためにぜひ!!(田野畑村 40代 男性)
25	田野畑村	津波防波堤を閉じる作業は遠隔作業にすることが望ましい。消防士たちを危険に曝さないように。(田野畑村 70代 男性)
26	田野畑村	田野畑村島越地区ですが、早期に防潮堤の改良工事をしてほしい。(田野畑村 60代 男性)
27	田野畑村	津波訓練の方々が、毎年同じパターンになっていて、住民に危機感がなくなっていると思う。(田野畑村 40代 男性)
28	岩泉町	高齢者や障害者等、災害弱者のため、各消防団や部落等に車椅子や小型リヤカーの配布が必要と思われる。いざとなると、高台に車で避難すると思われる。個人的に避難場所を設定するか、行政側で把握しておく必要があると思われる。携帯電話が普及していることから、これの活用方法を徹底すべきと思われる。(岩泉町 60代 男性)
29	岩泉町	避難標識があるだけの場所ですので、休める建物がほしいです。町のほうで、車での避難は避ける様に言っていますが、休むところがないので、やむを得ず車で行っています。今まで何回か避難していますが、ほとんど夜でした。休める建物があれば歩いて避難できます。(岩泉町 50代 女性)
30	岩泉町	訓練で避難する場所と実際に避難する場所とは、多分異なると思う。(建物がない、急な坂であるなどの理由で) しかし、車を使用できないなどの状況のときは、思いつく避難場所は訓練のとき避難した場所と思う。その意味で訓練に参加している。また、災害時は、家族が離れ離れになっている可能性があるため、その場合の連絡先、方法を訓練に取り入れてほしい。(岩泉町 40代 女性)

31	岩泉町	避難訓練が行政的のためか、自分の一番近いところに高台があるのに、指定した場所に逃げる集団訓練をしており、住民としての本当の意に反した訓練と感じます。(岩泉町 70代以上 男性)
32	岩泉町	避難場所のことなのですが、今のところ緊急時の避難場所というより訓練だけのための避難場所にしか思えません。暖房設備からはじまり何もない古びた建物が建っているだけです。(岩泉町 30代 女性)
33	岩泉町	私の祖父と祖母が昭和8年の三陸津波で亡くなりましたので、母から今まで何度も何度も津波の恐ろしさを聞かされて育ちました。現在は、小本川水門という立派な水門もでき、皆、安心して生活しています。(岩泉町 30代 男性)
34	岩泉町	避難訓練等、行政、消防、県警の一方的な計画のみで、町民の声が出ていないような気がする。(岩泉町 50代 男性)
35	田老町	情報源が主にテレビなので、詳しい情報がつかめない。町内放送をもっとわかりやすくやってほしい。(田老町 10代 男性)
36	田老町	小、中、高生の訓練参加を強く望んでおります。(田老町 60代 女性)
37	田老町	基本的には車での避難はいけないものと思っていますが、障害者の方の避難移動はやむを得ないと理解する。(田老町 50代 男性)
38	田老町	避難したときの宿泊施設があったらよいと思います。(田老町 50代 女性)
39	田老町	町の昭和8年津波の高波などある程度わかっていると思えるので、今の防波堤などを考慮して当時の津波が今の防波設備でどのように変わってくるのかシミュレーションしてテレビ等で知らせてほしいと思います。(田老町 70代 男性)
40	宮古市	私は磯釣りが好きでよくでかけるのですが、防災無線等は聞こえないし、ラジオを持っていても聞こえない所があり不安な時があります。(宮古市 50代 男性)
41	宮古市	海のすぐ前に住んでいるのが悪いかもしれないけど、地震のたびに津波にはおびえています。せめて、防波堤があればと思っています。(宮古市 50代 男性)
42	宮古市	津波経験があまりない私にとっては、ピンとこないというのが心境です。近くに水門があり、係の人が開けたり閉めたりしているのを見ると、何か協力を、とも思うけど、避難場所に建物が無いので、暗かったりすると、家にいるのが一番安全な気もしています。(宮古市 40代 女性)
43	宮古市	当地区は堤防があり、テレビ等の情報を元に判断しております。私自身、小学生の時チリ地震津波を体験して、波の速さ、引き潮、上潮の速さとすごさ、恐さを知りました。明るいと時の津波は視覚で確認できますが、夜の津波は不安です。(宮古市 40代 男性)
44	宮古市	いつやってくるかわからないので、日頃の訓練は必要で大切な事と思いますが、短時間で終わるように希望します。町内の地区別の集まりの時等、日頃より伝達のように話していれば、訓練に行かない人も少しはいざという時対応が出来ると思います。(宮古市 50代 女性)
45	宮古市	津波避難訓練を実施する時、文章だけで知らせないで、もっと市民に伝わるよう、何回も放送してほしい。津波訓練があるとすら、知らない市民も多いと思いますので。(宮古市 60代 女性)
46	宮古市	災害は忘れたころにやってくる。そろそろ三陸沖にどかんとくる番だと思う。市役所の位置が一番危ない。(宮古市 70代 女性)

47	宮古市	避難する時、実際には逃げることに集中してしまい、必要なものでさえ持っていけない場合が多いと思う。特に女性・子供・高齢者・障害者・ペットに対して、それぞれに特殊に必要であるもの（例えば、赤ちゃんの紙おむつなど）を常備してほしいと思います。（宮古市 20代 女性）
48	宮古市	津波を体験した年代は年々年老いてきて、知らない年代が多くなり、防災訓練の参加者が少なくなっています。「災害は忘れたころにやってくる」と言われていますが多くの方々の参加があるような呼びかけが必要だと感じております。（宮古市 60代 女性）
49	宮古市	津波の予報の細分化もいいですが、もう少し単純化した方が、わかりやすいと思います。（宮古市 50代 男性）
50	宮古市	宮古の鉾ヶ崎区海岸は海面とあまり変わらない高さである。高潮の場合でも海水が陸まで達するので何らかの対策を要望します。（宮古市 20代 男性）
51	宮古市	私達家族はまだ津波の大変さを幸い知りません。祖母からちょっと聞いただけです。現実には起きたら、どうしたらいいか心配です。（宮古市 50代 女性）
52	宮古市	我々はもっと過去の津波被害について知り、それを子供達や孫達に伝えていかなければならないと思う。（宮古市 50代 男性）
53	宮古市	チリ地震では被害がまったくなかったのですが、姑は大丈夫というのですが、他の地区で防波堤が出来、水の流れが以前とは変わり問題となっていると、以前テレビで見聞きました。とても心配です。出来れば、津波浸水予測図が欲しいです。（宮古市 40代 女性）
54	宮古市	藤原地区の避難場所は、低い場所にあり、安全性に疑問を感じます。高台に新しい避難場所を設置して欲しいと思います。（宮古市 40代 女性）
55	宮古市	防災訓練で防波堤を実際に閉じてもらいたい。実際きちんと取り扱えるのか不安。（宮古市 20代 男性）
56	宮古市	もし、今この町で津波が発生したらこうなるというのをシミュレーション等で表して、TV等を利用して、実際の恐さを教えてもらえたらと思う。過去の津波の被害等もあわせて紹介してもらえたらと思う。一度や二度ではなく、しつこいくらい教えていかないとなかなか個人が対策を考えるというところまでにならないように思う。（宮古市 70代 男性）
57	宮古市	忘れかけている津波を身近に感じられる、地震、津波等の体験施設（宮城県で見学したことがある）がほしい。（宮古市 50代 女性）
58	宮古市	海が近いので皆津波に対する関心はあると思う。昔から大きな地震があったら、逃げろといわれているので棚のもの等が落ちたりするとその気になってラジオ・テレビに注意を払う。昔海岸だったところが埠頭になって丸太や木材が並んでいる。津波でこれらが流れ出せば防波堤は破れると思う。堤防が出来ても安心はしていない。子供や孫たちが休みの時、家族全員での避難訓練がいいと思うし、それを町・市を揚げて参加するように町内・学校の取り組みが必要だと思う。（宮古市 60代 男性）
59	宮古市	一度避難したことがあります。場所が体育館で寒いし、何もなしもう行きたくないと思いました。（宮古市 50代 女性）
60	宮古市	避難場所（藤原小学校）が自宅より2m位しか高くないが、大丈夫か心配。自宅とあまり変わらない気がする。高齢者、障害者、弱者等の対策を充実して欲しいと切に思う。（身体の不自由な人ほど、ぎりぎりまで行動に移れないから正確な観測システムの充実をお願いしたい。）（宮古市 60代 女性）
61	宮古市	防波堤の整備により、災害時の海・川の水の方向が確認できていないため、二次災害への対策に力を入れてもらいたい。津波の流れが予知できぬ不安は大きい。（宮古市 60代 女性）

62	宮古市	あまり知識がない10代にとって、学校場で詳しく教育するという形であれば、もっと充実したものになると思ってます。海の町にとってはとても重要だと思います。(宮古市 10代 女性)
63	宮古市	海に面した道路で、よく海水が道路の上まで達するところがあるので、津波の注意報が出たとき等、車が通れるかどうか、いつも心配している。道路等の見直しもして欲しい。全体的に子供たちにもわかりやすい言葉や表示方法の使用についても考えて欲しい。(宮古市 20代 女性)
64	宮古市	防災放送の云ってることが全然わかりません。近所の人たちもわからないと云ってます。(宮古市 70代 女性)
65	宮古市	10年位前に避難勧告が出された時、生憎の雨でした。病気の祖母を避難させなければと水門を見ていました。閉じたら逃げようと水門を見ていたのです。その水門は、なかなか閉まりませんでした。漁師の人達が、漁具を運ぶために消防団にストップをかけていたのです。テレビを見れば、各地の水門を閉じるところが写っているのに……。水門が閉まらなければ安全と思い、祖母を避難させませんでした。(宮古市 20代 男性)
66	宮古市	水門の設備の見直し、改良、改善をしてほしい。閉めるのに時間がかかったり、労力が大きすぎたり、故障したりするものがあります。(宮古市 30代 男性)
67	宮古市	防災無線が風向きで聞こえないときがある。海岸付近は高音スピーカーが必要と思う。(宮古市 50代 女性)
68	宮古市	数十cmほどの津波の予測の時、夜間の避難勧告は、スピーカー放送しないでほしい。(宮古市 30代 男性)
69	宮古市	通りすがりの人でもわかるぐらいに避難標識をわかりやすく作ってわかりやすい所に置いてほしいと思います。(宮古市 20代 男性)
70	宮古市	テレビ等で地震の報道をするとき、地名だけでなく県名も発表してほしい。近いか遠いかで心の準備ができるから。(宮古市 40代 女性)
71	宮古市	各家庭にもう一度「あなたの家族の避難場所はここですよ」というチラシがほしい。説明書がほしい。(宮古市 50代 女性)
72	宮古市	津波防災マップをもう少しわかりやすい所に設置してほしい。例えば、ごみ収集所の所に掲示板にして置いてほしい。(宮古市 50代 女性)
73	宮古市	新しく津波の恐れのある地域に引越してきた人に対して、何か対策はとられているのか？(宮古市 20代 女性)
74	宮古市	国道45号線を津波の高さより高い位置に作ってほしい。(宮古市 30代 男性)
75	宮古市	小型の携帯マップを作成してください。防水で自宅の周り、連絡先など記入できるもの。(宮古市 70代以上 男性)
76	宮古市	各分団に消防無線を付けてほしい。(宮古市 30代 男性)
77	宮古市	①せっかくの津波訓練時なのに避難(訓練)してくれる住民が少ないことが気がかりです。積極的自発参加をどうするか、頭が痛いですね。②津波に限らず災害時に必要なものは正確な情報だと思います。避難先の住民に時間ごと(あるいは分ごと)の定時情報を送って不安を取り除く必要があると思います。(宮古市 50代 男性)
78	宮古市	地震で水門等が破損した場合の津波浸水予測。地震後最低何分で津波がくる可能性があるかその予想地図(引き波の後及び湾奥湾口で違う)の作成。(宮古市 40代 男性)
79	宮古市	行政にばかり頼らないで個人個人も普段から非常持ち出し用品、避難路などに気をつけていればいいと思う。(宮古市 60代 男性)

80	宮古市	自宅付近にいる時なら、ある程度対処できると思うが、外出先で対処できるのか不安。車で移動しているときなども不安。(宮古市 40代 女性)
81	宮古市	津波防災マップが各家にないようです。(宮古市 60代 女性)
82	宮古市	津波の被害を防ぐために防波堤や水門を作るのは避けられないことなのだろうが一方、今まで見えていた海、周りの景色が見えなくなり寂しくもあり残念です。(宮古市 30代 男性)
83	宮古市	私の住んでいるところは、高波の時、国道に海水が上がる状況なので津波の時、その場所から海水が入ってくるのではと心配です。(宮古市 50代 女性)
84	宮古市	鍬ヶ崎の方だけが防波堤がないようです。どうかその方法を考えてくださいませんか。なかなか住み慣れた(45年)所から離れられないのです。(宮古市 60代 女性)
85	宮古市	奥尻の地震のようにあつという間に波がくるようであれば、高齢者二人を連れて私は波に追いつかれてしまうと思います。(宮古市 50代 女性)
86	宮古市	緊急避難のための近場の山、高台の道路広場の整備(宮古市 50代 男性)
87	宮古市	訓練を行う必要があることはわかるが、災害弱者が家族にいる場合、車でしか避難できないのが現状であり、徒歩で避難できる範囲であれば、避難場所の周知のみでよいのではないか。(宮古市 30代 男性)
88	宮古市	「周期的にそろそろ大きい津波がくる」とよく高齢者が話す。我々は津波がくることを忘れているかもしれません。観測システムの強化が必要です。(宮古市 40代 男性)
89	宮古市	新しい村にきましたので、津波防災対策のシステムを知りたいです。避難する場所もわかりません。村から説明もありません。(宮古市 50代 女性)
90	宮古市	被害は忘れたころにやってくる。格言のとおり日常の心がけが大切と日ごろ思っておりますが、毎日多忙のため思うだけに終わっております。(宮古市 70代 女性)
91	山田町	避難訓練は夜間とか若い人が働きに出ている時間帯、日中家族がいないときの高齢者が多く残っている時間帯を想定したりしてみるのも必要ではないでしょうか。(山田町 40代 女性)
92	山田町	チリ津波以後に出来た防潮堤は35年以上もたっているのに、古くなりコンクリートが亀裂しているところが多数あります。早期補修が必要と思われます。(山田町 60代 女性)
93	山田町	我が家では寝たきりの祖母がおり、もし避難となれば家にいる人が関わることとなりますが、私がいなくは父母は高齢で近所の方々にお願いしなければ避難できないと思います。市町村単位で海岸に近く寝たきりの人のいる家を調べどのように避難したらいいか、マップなどを作ったり、聞き取りなどしていただければと思います。(山田町 40代 女性)
94	山田町	チリ津波体験者として過去、明治、大正、昭和、チリ等の津波による町内の浸水高などを記録して形で残してほしいです。飲料水の確保として湧水(高台の)などを大事にしたほうがよいのでは……。 (山田町 50代 女性)
95	山田町	大潮の際は道路が長靴を履かないと歩けないです。津波となったら、一番に逃げなければなりません、少し道路の整備も・・・? (山田町 50代 女性)
96	山田町	避難場所は町民グラウンドで休むことも出来ず、寒い時などは辛いことと思います。避難場所付近に住居を持つ方で、都合のよい方にはそういう際の休憩所のような役割をしてもらうよう平常時にお願いをしてみたいかと思っております。(山田町 50代 女性)

97	山田町	私の両親は高齢者の二人暮らしで父は車椅子の生活です。町ではこのような介添えが必要な人達を把握し、そのときの避難の仕方とか個々に話をしてほしいです。また、トイレの問題ですが、ポータブルトイレの準備とか、紙おむつとか考えてほしいです。(山田町 40代 女性)
98	山田町	自分のいる場所が海よりどの位の高さにあるのかわからない。自宅においても、旅行先においても海拔何mか又、海より何m離れているかわかるような標識もほしいと思います。(山田町 40代 女性)
99	山田町	津波体験談を収集記録し、子供達や体験のない人々に伝えることも必要だと思います。普段の話の中に語り伝えられるのが勉強、学習になります。(山田町 40代 男性)
100	山田町	水門の施設の整備(山田町 20代 男性)
101	山田町	私は山田町の大沢の住民ですが、昭和8年3月の三陸沖地震大津波を体験したのですが、この津波で大津波の人的被害が寝たきり老人一人だけだったというのは、明治29年の三陸大津波の体験者が沢山健在でいて、地震と同時に飛び起きて渚に走り出て潮の動きを注視し、その変化に津波が来るぞ、早く逃げろと村中を騒いだから皆が早く逃げることが出来たと思うのである。(山田町 70代 男性)
102	山田町	インターネットなど情報を充実させることが大切だと思います。災害直後に専門家を災害地に派遣して何が必要なかを把握し、それを知るための用意が必要であると考えます。(山田町 40代 男性)
103	山田町	海外での津波が日本でも観測されることが予想された時の対応について防災行政無線を通じ、住民に知らせるべきである。(山田町 20代 男性)
104	山田町	一番問題なのは寝たきりの老人etcの避難をどうするかだろう。町内会で対応するしかないと思うので行政は強力に指導してほしい。(山田町 50代 男性)
105	山田町	物の整備だけが先行している様に思いますが、津波に対する考え方等の整備が必要だと思います。(山田町 70代 男性)
106	山田町	山田町の拡声機は聞き取りにくいし、サイレンが魚市場と同じでよくわかりません。(山田町 60代 男性)
107	山田町	明治、三陸津波及びチリ津波等のマップを参考にした街づくりを検討していただきたい。(山田町 70代 女性)
108	山田町	<p>○過去の津波体験につきまして・・・</p> <p>できれば、1993年の北海道南西沖地震、1983年の日本海中部地震など、最近起きた津波を実際に体験、被災、避難なされた方々の声を取り入れ、被災履歴のある地域で、語りべの交流、講習会が頻繁に開かれても良いのではないかと思います。</p> <p>○津波情報の報道のあり方につきまして・・・</p> <p>最近の民放テレビの地震情報は、NHKですでに地震情報が流されてから、5分から15分近いタイムラグがあり、小規模な地震などは、全く報道されないことがあります。三陸沿岸は、過去の津波の場合、地震と津波のマグニチュードの関係が、地震のマグニチュードより津波マグニチュードがエネルギー的に数百倍も大きい場合が、かなり大きな割合を占めているのが、周知の事実です。迅速な対応が必要です。三陸沖の場合、地震発生から第1波が到達するまでの推定時間が、20分から30分あるわけですから、テレビで津波情報が出るまで10分だとしますと、避難まで10分から20分しかないわけで、とてもガスの消火、電気の回線の切断、災害弱者の避難を一度に行うのは、困難であります。民放放送には、営利を超えた報道体制の確立を行政側からご意見していただきたいです。</p>

## ○津波避難場所につきまして・・・

時々思うのですが、仮に規模の大きな地震がございました場合、寺社などが避難場所に指定されていた場合の門柱、門扉、石塔、鳥居、ブロック壁、高所に登る階段等が、破損、倒壊した場合、避難民が入りに殺到しても避難所に入場できない場合、パニックに陥らないか、疑問を感じるときがあります。避難場所自体が高台にあったとしても、避難場所にふさわしいか、疑問を感じることがあります。

## ○避難標識につきまして・・・

避難標識の中には、漢字だけの標識がありますし、ちょっと見ただけでは何の標識かわかりづらいです。もっと県民がわかりやすい「記号」的な標識、あるいは観光客でも一目でわかる統一的な標識で、ほかの標識、看板と明確な違いがある標識がほしいです。また、要所要所で、現地の標高を示す表記が補助標識的にもっと普及すれば、避難の目安になると思います。

## ○避難経路につきまして・・・

三陸沿岸、ほとんどの地域が、住宅街を通過して避難しなければなりません。ですが、どの通りにも幅員狭搾箇所が必ずありますし、必ず違法駐車があるのが現状です。全ての車を撤去せよとは言いませんが、普段から災害時の避難経路の確保に住民意識を向ける努力が必要だと思います。

## ○災害弱者の避難方法の連絡について・・・

難聴、視力低下で、災害情報、避難情報を得にくい高齢者が増えています。テレビの音が聞き取れない、字幕が読めない高齢者がいます。例えば、緊急放送のスピーカーにフラッシュライト、回転灯など、聴覚で聞き取れなくても、視覚で、ある程度緊急避難が必要なことを伝達できる機能を付加できないでしょうか。それに、火災時と津波の避難要請時との放送形式を差別化できないでしょうか。

## ○災害弱者の避難方法・・・

最近、町内で、リヤカーを所有する家庭が激減しました。リヤカーでも、老人の4人くらいは、2人の健常者で早足の速度で運ぶことが可能です。通常は、日常生活で誰でも利用できて、管理者を決めて、保管、メンテナンスが出来れば、無駄の無い利用ができるのではないのでしょうか。当然、指定避難場所の距離に比例して台数の加減は必要ですし、公費を出す前にリヤカーの保有者を調べ、不足分を行政が補給しても良いのではないのでしょうか。

## ○防波堤整備につきまして・・・

最近、田老町の大防波堤の老朽化が問題になりました。防波堤整備は巨額の予算が投じられても、その割に100%能力を発揮できるのが、実際に数十年に一度の津波が到来したとき、もしくは高潮期に限定されます。たとえば、津波のときに漂流してくる木材、船舶、放置漁具、木製の養殖施設が、老朽化した水門、防波堤に大きなダメージを与えるのではないのでしょうか。昔の津波写真を見れば、壊れた木船、丸太、廃材が防波堤にもたれかかっている写真が必ずあります。当時に比べ、養殖施設、水産加工設備、プレジャーボートも増えました。

## ○港湾の津波対策について・・・

やはり、津波防災設備は、防波堤以前に津波のソリトンとしてのエネルギーを如何に減衰させる設備があるかにかかっていると思います。湾口防波堤、テトラポットの増設はそれなりに進行していると思います。当然、津波のエネルギーの減衰に大きな貢献になっているのは、いうまでもありません。ですが、あまり長々とした海上の防波堤もどうかと思います。陸中海岸国立公園に指定されているのですから、もっと環境に配慮した日本の防災施設の手本になりうる施設を希望します。



		<p>○津波の注意報</p> <p>いくら小さい津波でも、水面下に莫大なエネルギーを秘めています。高波だけが津波の被害を決める尺度になるのはおかしいです。注意報が出なかっただけで、漁船の係累ロープが切れかかった、錨が動いた、という話は、結構あります。また、将来、今まで記録に残っている津波より、規模の大きなものが襲来する可能性につきましても、県民への説明が必要だと思えます。注意報、警報は出しすぎて外れることよりも、「出さないで津波がくる」事の方が恐ろしいことだと思えます。</p> <p>(山田町 20代 男性)</p>
109	山田町	<p>外国での津波が日本に来るかどうかわからないときでも、もしかして来るのではないかというような放送をする必要があるのではないかと思うときもあります。(山田町 50代 女性)</p>
110	山田町	<p>田の浜の八幡様の裏道路が非常に悪く、我々老人や身体障害者は逃げ遅れる可能性が十分にあると思えます。(山田町 70代 女性)</p>
111	大槌町	<p>一般人にわかりやすくしてほしいし、避難場所の整備を急いでほしい。(大槌町 10代 女性)</p>
112	大槌町	<p>昔は地震がくるとすぐ津波と思っていましたが、今は数十cmの津波でも警報や注意報が出されるので、出しすぎなのではないでしょうか。聞くほうも、慣れてしまって危機感が薄れてしまう恐れがあるのでは?いけないことなんですか?(大槌町 50代 女性)</p>
113	大槌町	<p>現在大槌町小槌川河口に高潮対策の水門工事が行われていますが、大槌川河口には?今までの例から言えば倍の水が大槌川上湾に入り込むのは見えている。今のままでよいのか心配です。大町、須賀町の一部に満潮時に0メートルになる場所が数ヶ所ありますが、その対策も早急にするべきである。(大槌町 50代 男性)</p>
114	大槌町	<p>夜間でもはっきりわかる標識の工夫。住民以外の人々も、すばやく避難できるような工夫。(大槌町 50代 女性)</p>
115	大槌町	<p>施設を作ることによって自然の生態系を壊してしまうことがある。豊かな浜辺がなくなる、景観から海辺らしい美しさがなくなる等という問題点もあるのでないか。(大槌町 60代 男性)</p>
116	大槌町	<p>避難道路の整備、夜間照明については早期に改善してほしいと思えます。(大槌町 70代以上 女性)</p>
117	大槌町	<p>大町地区では、防災行政無線の放送が聞こえにくい場所となっております。放送していることがわかりにくく、皆様困っています。よろしく願います。(大槌町 60代 女性)</p>
118	大槌町	<p>訓練や非常持ち出し用品などは、大事だと思っているのですが、津波の経験もなく、危険な目にあったことがないので、ピンとこないところがあると思えます。(大槌町 20代 女性)</p>
119	大槌町	<p>防災放送においても、火災とは別のサイレンなどにおいて、津波と火事との差別化を図るべき。防災放送のスピーカーが何を言ってるかわからない。改善すべき。(大槌町 30代 男性)</p>
120	大槌町	<p>大槌町は津波被害に数度遭っているのに他人事とは思われない。もっと肌で感じられるように徹底した教育というか、指導、指示を出せる人になってもらいたい。(大槌町 20代 女性)</p>
121	大槌町	<p>過去に大きな津波を経験していると、地震が震度3になると、高齢者は気持ちが悪転してしまいます。高齢者でも家族が共に生活している所はいいけど、そうでない所へのケアは必要と思えます。(大槌町 70代 女性)</p>

122	大槌町	私をはじめ、あまり津波に興味のない方が増えている中で、学校等で平日頃口々に避難場所等の確認をしてほしいものです。町内の高潮対策はいい方ではないかと思います。(大槌町 30代 男性)
123	大槌町	防波堤が整備された現在は、地区によるが家屋の倒壊の恐れがなくなり、車での避難、または、荷物運びで車を使用すると思われます。車を使用しない避難の徹底、または、必ずありえると思われる車を使った避難訓練の実施をしてほしい。(大槌町 50代 男性)
124	大槌町	施設の整備は必要と思うが、大事なのは災害に対する意識で、高いところに逃げることであると思っています。逃げるのが最大の防御である。(大槌町 70代 男性)
125	大槌町	今まで津波警報が何度かありましたが、数十センチ単位、または他の地域の数値が発表されるので、安心していました。これからも現在の情報+αの対策をお願い致します。現在は防波堤も完備されており、過去の津波が来ても大丈夫という数値が変化していると思います。その辺の見直しも必要だと思います。(大槌町 40代 男性)
126	大槌町	幼いころ、堤防を越える津波を見た記憶があります。その後波の引いたところに様々な物が残っていました。海岸が整備され、津波の被害はほとんどなくなりましたが、それとひきかえに、海水浴のできる場所もなくなりました。子供達に安全を手渡す代わりに豊かな自然を失うことがとても残念です。(大槌町 40代 女性)
127	大槌町	津波防災マップ等は各戸に配布し、近隣対応、特に独身老人等がいる家などには何か目印などつけ、誰にでもわかるようにすることも必要なのではないのでしょうか。(大槌町 50代 女性)
128	大槌町	チリ地震津波のときもそうでしたが、必ず地震があるとは限らない、というところが問題です。普段からニュース等で海外で地震などがあったそうだというときは、規模が大きい場合には、用心したほうがよいと思っています。サイレンが鳴ったとき等、火事だとばかりは限らないという事を忘れずに生活しております。(大槌町 50代 女性)
129	大槌町	漁港などが毎年整備されていく中で、漁港などの付近に漁具の不用になったものとかがあり、津波の時などは特に災害を大きくする事になるのではないのでしょうか。漁船等が多くあり、もっと整理すべきと思う。(大槌町 50代 男性)
130	大槌町	数センチの津波でもマスコミが大きく放送するので、マンネリ化してしまっている。大きな津波がきたときが心配だ。(大槌町 50代 男性)
131	大槌町	私達近所の避難場所は、近くの裏山です。冬場とか夜間の場合、何の整備もない所に行くのは、ためらいがあります。防災対策としては、災害にも安全な場所に建物があればと思います。(大槌町 40代 女性)
132	大槌町	自分がいる地区は山の方が近くて津波についての考え方があまりない。又、学校などの行事に参加しているが、野原の避難ではこれでいいのかと思うこともあります。(大槌町 50代 女性)
133	大槌町	大槌町中心街は道路幅が一車線道路が多いため、津波発生時は大変だと思えますので、町内道路の二車線化を強く要望致します。(大槌町 70代 女性)
134	大槌町	三陸沿岸の場合、情報より津波のほうが早く来る可能性があるため、早い情報を必要とします。(大槌町 60代 男性)
135	大槌町	津波の体験をしたことがない若い世代は、津波の恐ろしさを知らない。危機感もさほどないのではないのか。(私も含め) そういう意味で小さいころから学校なり、親、祖父母が、教える必要があるのではないのか。(大槌町 30代 女性)

136	大槌町	災害弱者のマップを作り、災害時に避難する際に誰か声をかけ、逃げるのを手伝い、又逃げたのを確認する体制を作っておく必要があるのではないか。海岸に住んでいると地震の度に「津波が来るのでは？」という恐怖にかられ、自己判断で逃げる準備をしているが非常持ち出し用品は限られる。県市町村の備蓄品目や数量がどのくらいあるのか教えてほしい。(大槌町 50代 女性)
137	大槌町	防災訓練に大多数が参加しやすくするシステムを作してほしい。(大槌町 50代 男性)
138	大槌町	地震、津波の放送が遅すぎる。1分以上の時間であれば近くでの津波になると避難が間に合わないと思いますので、その点が心配です。(大槌町 50代 女性)
139	大槌町	私は常にラジオを聞いているが、夜になると岩手県向けの放送が受信しにくくなり、仕方なく関東や北海道向けの放送を聞いている。地震、津波のときは役に立たないと思う。岩手県内どこでもいつでもクリアに「NHKラジオ第一」を聞けるようにしてほしい。グラツときたらすぐにラジオのスイッチを入れる人はたくさんいる。もっとも有力な情報源を確かなものにしてほしい。(大槌町 30代 女性)
140	大槌町	当町では年一回の津波避難訓練を行っているが、町民の関心が今ひとつ足りない。参加者が少ない。訓練時間は一時間ほどでもっと時間をかけた訓練にすべき。又、組織も消防関係のみで自主的な防災組織もまだない状態である。(大槌町 60代 女性)
141	大槌町	これからも必ず来る津波の防災対策として、前に津波の被害にあった所にその場所の被害を書いた標識があってもよいと思います。(大槌町 40代 男性)
142	大槌町	環境等に合わせた堤防等にしてほしい。(大槌町 30代 男性)
143	大槌町	ここ何十年津波がないので、40～50歳くらいの親、又その子供たちは津波などに対して、来ないものと思って訓練などに参加せず、残念に思う。私は昭和8年津波で祖父、兄弟、姉妹をなくしている。(大槌町 70代 女性)
144	大槌町	大槌川鉄道橋緊急対策事業の早期完成をお願い申し上げます。現在、大槌川左岸の高潮対策防波堤は、鉄道橋と交差する地点で高さ2.85メートル延長18.0メートルが未完成のままになっています。安渡市街地の背後にダムの放水口を背負って暮らしているようで、不安でたまりません。事業の完成が遅れるようでしたら、一日も早く応急仮設堤防を施工されて、地域住民の民心の安定を図っていただきたいと思います。(大槌町 60代 女性)
145	大槌町	学校では小学校の時に、校内放送で校長先生が実体験を語ってくれましたが、それ以降は朝、登校する前に避難場所へ行き、集団登校するだけでした。大人になり、そんなことから遠ざかり、今では子供以下です。大人の方にこそ、津波に関する知識を各家庭へ。(大槌町 20代 女性)
146	大槌町	広報する時どのメディアを利用するのが効率的か考えてほしいと思います。(大槌町 40代 女性)
147	大槌町	防災袋に必要な物などを安く提供してもらえないものなのではないでしょうか。(大槌町 30代 女性)
148	大槌町	高齢者や障害者はどこにでもいるけど、思うように動けないと思うので、この方々を優先的に避難できるようにもっとちゃんとした対策をとってほしい。(大槌町 10代 女性)
149	大槌町	桜木町地域では健康福祉会館の裏山に避難となるが、現状では困難です。100m以上高いところに中央公民館に通じる農林道があります。そこへの歩道(階段等)を要望する。(大槌町 50代 男性)

150	大槌町	途中でストップしている防波堤を早急に整備してほしい。(大槌町 50代 男性)
151	大槌町	津波避難訓練(3月3日、小、中学校のとき)に参加したことはありますが、海から遠いのであまり考えたことはありません。海に近い人たちには素早くて確かな情報を伝えてほしいし、防災用品、避難場所、経路等、常に安全を確認しておいてほしいと思います。(大槌町 20代 女性)
152	大槌町	私達が幼少のころは、3月3日は地域を挙げて避難訓練をした覚えがあります。毎年、地域の行事のようにやってほしい。(大槌町 30代 男性)
153	釜石市	現在、湾口防波堤、水門等が整備されて安心です。しかし、夜間の場合高齢者ばかりで不安です。(釜石市 70代 女性)
154	釜石市	大きな津波はここ最近きていないので、対策に対して考えが甘いところがあるのでは。災害があったときは、自己中心的な考えになるので普段から弱者中心の考えを心がけるようにする。(釜石市 20代 男性)
155	釜石市	釜石東中、鶴住居小学校の避難場所が校舎から1kmくらい離れており、実際に大津波がきたら使い物にならないので近くの山に避難場所が必要です。(釜石市 60代 男性)
156	釜石市	携帯電話が私の住んでいる地域は電波が弱く避難場所に行くに入らないので海岸線はどこへ行っても入るようにしてもらいたい。ラジオ(AM, FM)も入らなくなるので整備してもらいたい。避難場所が電気も建物もないのでどうにかしてほしい。(釜石市 30代 男性)
157	釜石市	防災も大切であるが、いざ起こってしまった時、きちんと対応できるかという行政のあり方が心配である。一人暮らしの老人や障害者に対して例えば災害があれば、消防署からFAXが届く等の対策があるのに地震に対しては、特にテレビをつけなければ情報がわからないという点はあるのでは・・・。(釜石市 30代 男性)
158	釜石市	堤防が近い海岸に住んでいますがアパートの4階なのでかえって急な動きは危ないと思っています。集団で住んでいるので自治体か町内会サイドからまとめて説明、訓練、話し合い等々をすることでためになるでしょう。(釜石市 10代 女性)
159	釜石市	大規模地震で建物等の倒壊、停電事故と津波来襲の危険が重なった場合、防災行政無線(非常電源完備としても)以外の情報伝達方法を確立していく必要があると思われる。(釜石市 70代 男性)
160	釜石市	実際に災害に遭ったことがないので、訓練といわれてもピンとこないのも、まだ参加したことがありません。でも、小さい子供がいるので今後は是非参加してみたい気持ちもあるので、イベント風に(楽しい催し物も同時に行う)などして県民、市民の参加を増やす工夫がほしいです。(釜石市 30代 女性)
161	釜石市	年々津波避難訓練への参加者が減少している。各自の意識不足と訓練の方法等、要検討。 湾口防波堤の早期完成を願う。水門等の手動操作は大変なようだ。(ハンドル)油圧装置等、全設備に導入してください。(釜石市 70代 男性)
162	釜石市	津波防災対策に関することでもありますが、市の行政放送について、放送スピーカーのある場所から、200mも離れていない位置に住んでおりますが、いつも行政放送が聞き取れず不満を感じております。(釜石市 60代 女性)
163	釜石市	津波防災の風化を防ぐために、①各地の石碑の意義を改めて見直す ②避難場所、近隣の世帯への協力(看護婦等への協力要請、世話人の任命、救急用具の設置(預置き)、暖房設備用意(預置き)(釜石市 50代 男性)
164	釜石市	早く湾口防波堤を完成させてもらいたいと願っています。(釜石市 70代 男性)

165	釜石市	避難訓練はいつも3月上旬の早朝。避難場所は街灯も建物も舗装道路もない山の上。机上だけの防災対策ではなく、実際夜に避難場所を訪れる等をして、もっと地域住民の立場で真剣に考えていただきたい。(釜石市 30代 女性)
166	釜石市	以前は夜間の地震があったときは、どの家も板戸を開け、いつでも避難できる体制にするのが普通でした。最近は何があってもどの家庭もシーンと寝静まっているのには残念です。又、驚きです。(釜石市 60代 女性)
167	釜石市	私の町では市の恒例行事として毎年3月3日の津波記念日には避難訓練を行っている。平日にあたったときは参加者が少ない。要望としては、夜間の避難訓練も必要でないかといつも感じている。(釜石市 70代 女性)
168	釜石市	過去の津波の被害状況など学校で詳しく学習した覚えがないので、それらを風化させないためにも授業で防災についてもっと取り入れた方がよいと思う。また、防災の日にあわせて市の広報や新聞に過去の津波の実績や被害状況などを折り込みとしていれてみては？(釜石市 20代 女性)
169	釜石市	避難場所の設備を充実させてほしい。(釜石市 10代 男性)
170	釜石市	海岸近くに防潮堤は出来ておりますが、今までの津波の高さによって出来ていると思うので不安である。今後どれほどの高さの津波がくるのかわからない。(釜石市 50代 男性)
171	釜石市	一番近い避難場所は、建物もないただの山。夜は、照明もなく寒い日など避難場所としては不適切だと思う。そういう場所がいっぱいあるのではないのでしょうか。(釜石市 40代 女性)
172	釜石市	結局最後は、自分で自分を守ることになると思うので、知らなかったで終わることのないよう、次回の訓練には参加してみようと思います。(釜石市 30代 女性)
173	釜石市	私の住んでいる釜石では防波堤などの対策がバッチリなので大丈夫だと思っています。(釜石市 20代 男性)
174	釜石市	三陸沿岸に津波が押し寄せた場合、橋や道路が遮断され、沿岸の上下の移動ができなくなり、大変なことになります。津波の被害を受けない道路を早く整備してほしいと思います。(釜石市 30代 男性)
175	釜石市	市町村の段階で道路について、ここがだめならここを通るとか、具体的な例を分かるようにしてほしい。(釜石市 60代 女性)
176	釜石市	津波被害があった後の食料、医療、避難小屋、交通手段、通信手段などの対策を充実させることにも力をいれてほしい。(釜石市 30代 男性)
177	釜石市	避難訓練には近所を誘い参加するよう心がけたい。(釜石市 60代 女性)
178	釜石市	防潮堤付近には、水産加工工場や漁業の方々の資材が置いてあり、避難道路のところなどは開けてあるが、いざという時に大丈夫かなと不安に思います。(釜石市 40代 女性)
179	釜石市	防災訓練はこれからもやってほしいと思いますが、テレビ、ビデオなどで津波の怖さを目で見ることも大切なことで訓練に参加する人が増すと思います。(釜石市 50代 女性)
180	三陸町	夜間に大きな地震、津波が発生した場合、電力の停電が予想されるので、避難道路、避難場所等にバックアップ用の照明を整備してほしい。(三陸町 30代 男性)
181	三陸町	家が海から数キロメートル離れていて、避難場所に行くこと自体が、逆に津波に巻き込まれるので、これからはもう少し家など考えてアンケートを配ってください。(三陸町 20代 女性)
182	三陸町	私のいる三陸町根白の避難場所は家の下にあり坂を下ってまた上がったの所にあり、避難するのに不便ですので、改善してほしいです。(三陸町 40代 女性)

183	三陸町	沿岸地域住民が連帯した共通認識を持つことが肝心である。北海道奥尻島での津波被害など改めて津波、自然界の恐怖を感じてやまない。講演会等の開催のみならず、シンポジウム等においても必要なデータの収集や解析を進展させ、より正確な地域住民への情報提供を望むものである。(三陸町 30代 男性)
184	三陸町	津波情報発表までの時間がかかりすぎ。もう少しはやくならないか。(三陸町 30代 男性)
185	三陸町	避難道路をわかりやすく、カラー舗装するとか、夜でも安全に通行できるよう外灯、反射板などの整備をお願いしたい。避難場所も遠くから見てもわかるよう、ライト、看板等を設置したほうがよいと思う。(三陸町 30代 男性)
186	三陸町	津波がくると思われる場所に住宅がある場合、安全な場所へ新たに土地を購入したり、住宅を移す場合に何らかの補助があるととても助かると思うのですが、現状では何もないようなので、今後検討して頂きたいと要望しています。(三陸町 40代 男性)
187	三陸町	三陸町は毎年、北里大学の学生が新しく入ってくるので、特に新住民を対象にした津波のオリエンテーションをもってもよいのではないかと。地震が来たら、津波を心配するという発想がないと思う。(三陸町 30代 女性)
188	三陸町	客観的事実をいち早く周知することが重要だと思います。判断材料の提供に努めてほしい。チリ地震津波のとき、最も役立ったのは行政ではなく、浜の人たちの無線による情報でした。それがすぐ漁協から地区の住民に流され避難したのに、役場からの情報はそれから遅れて役に立ちませんでした。(三陸町 40代 男性)
189	三陸町	マスメディア(テレビ、ラジオ、新聞など)を利用し、ある程度の知識を身に付けられるようにできればよいと思う。我が家では小学低学年生が1人と、73才の義母がいる為、もし違う場所で津波に出会った場合、散り散りになってしまうのではないかと、心配しています。(三陸町 40代 女性)
190	三陸町	私のように津波体験のない人が多くなってきていると思いますので、シンポジウムや各戸への資料の配布等をおこなってほしい一方で、訓練等の参加を多く呼びかけるときは各部落単位で検討することも必要ではないかと。(三陸町 30代 男性)
191	三陸町	体験的に地震があれば、津波はどうか気になります。小さな地震であっても津波があることも知っているのですが、情報はすぐ確認するようにしています。しかし、子供達は全く意識していないように思います。奥尻のときも、今まで聞いたことがない大津波警報がでたため、子供達と避難しました。避難場所には3つの家族くらいしか避難していませんでした。(三陸町 40代 女性)
192	三陸町	田舎などの町や村などには、若い人が年々減っているため、高齢者が増えている。なので、とにかく高齢者や障害者等の対策を本当に充実にしたものとしてほしい。(三陸町 10代 女性)
193	三陸町	避難場所の鍵が開いていないことには入れませんので、誰が係なのか、困ったことがあります。(三陸町 50代 女性)
194	三陸町	地元の防災組織の一員となっているが、毎年一回の訓練は参加している。住民の多数の参加が見られている。(三陸町 50代 男性)
195	三陸町	実際の津波の経験がない人が多くなってきている上に、防波堤等の設備が整ってきつつある中、地震があっても津波が起きる事すら知らない人が多くなっていると思われます。(三陸町 50代 男性)

196	三陸町	過去の津波経験者からもっと詳しい話を聞き、今の子供たちにも語り継いでいければ良いと思う。(三陸町 30代 女性)
197	三陸町	避難袋の中の必要なものの大体のリストを書いたパンフレットがほしい。(三陸町 50代 女性)
198	三陸町	標識もよいが、路面に指示があると、実際「津波だ!」と慌てた時でも、すぐ目に入り、避難できるのではないかと思う。特に、釣り等のビジターには標識を探すのも大変だと思うし、逃げるのも、もしそれが川沿いであっても道に沿って、逃げるのではないのでしょうか。(三陸町 20代 女性)
199	三陸町	明治三陸津波クラスのが来れば危ない所に住んでいるので、津波には敏感に反応します。そろそろ大津波が来るのではないかと心配しています。正確な情報を早くお願いします。(三陸町 50代 男性)
200	三陸町	防潮堤や防波堤は、とても便利なものだと思うが、環境の変化にならないか調べてほしい。実際海水浴場に防波堤ができ、砂に変化が出てきた。津波の対策も必要だが、観光のことも考えていきたい。養殖とか魚にも影響が出てこないのでしょうか。(三陸町 10代 女性)
201	三陸町	自宅に高齢者や障害者がいた場合、車を利用しなければ避難出来ないが、指定避難場所まで行くには川沿いを走らなくては行けない。(三陸町 30代 女性)
202	大船渡市	湾口防波堤を作ってほしい。安心できない。(大船渡市 60代 女性)
203	大船渡市	私自身、小学校の時にチリ地震津波の被害に遭いました。あれから40年以上経った今では、あの時の大変な状況を忘れかけてきています。(大船渡市 40代 女性)
204	大船渡市	防災訓練についてですが、年々参加者が減少していると思う。この事については、市でも苦慮していると思うが、チリ地震津波体験者としては、そういう意識の低下が非常に危険だと思います。(大船渡市 40代 男性)
205	大船渡市	防潮堤が徐々に進んでいるようですが、予算等の関係もあると思うが、でんでん虫様では気がもめる。(大船渡市 70代 男性)
206	大船渡市	私は実際に津波を経験したことが無いので、津波のことについてはあまりよくわかりません。が、いつ津波がきても対応できるように津波についての知識を勉強し、深めたいと思います。(大船渡市 10代 男性)
207	大船渡市	外船が木材を積んで入港します。太い大きな材木が岸壁に積まれているようだが、また、あの様な津波があった場合、津波だけでなく材木のいたずらは経験したものでなければわからない。(大船渡市 70代 女性)
208	大船渡市	近所には高齢者で一人暮らしの人が複数いるが、避難訓練にも参加したことがないが、本当に津波がきた場合は高齢者、又は足腰の不自由な人達のいる家庭を各地区の消防団を通じて調査して、最悪の場合どうすべきか検討してほしいと思います。(大船渡市 60代 男性)
209	大船渡市	チリ地震津波の被害から40年。未体験者の津波防災意識の啓発。高齢化に伴う核家族化、災害弱者の増加と車社会の現状に対応する避難方法の再検討。(車による災害弱者の避難方法の検討)(大船渡市 70代 女性)
210	大船渡市	防災無線の設置に一考を要する。私は海岸より150m以内の商店街に住む者ですが、朝7時の市の広報、又は火災の発生時の放送が全く聞き取れない。一度役所の係員に調査してほしい。(大船渡市 60代 男性)
211	大船渡市	岸壁に積まれてる外材が地震や津波の場合、どのような動きになるものなのか。その時によっては町内のビル等で避難できるかもしれないので、ビル等の不時の利用を考えてもいいのではないか。(大船渡市 70代 男性)

212	大船渡市	最近テレビも地震や津波について時間がかかりすぎのように思います。体を感じたときにすぐにテレビを見ます。とても時間がかかりすぎのように思います。まず、現在では県や市ではなく、私は一切テレビで判断して行動します。(大船渡市 70代 女性)
213	大船渡市	大船渡市下船渡永井沢に未だ防潮堤がない。(大船渡市 70代 男性)
214	大船渡市	防潮堤は徐々に完成されたようだが各水門付近では現在も防災灯が完備されていないところが多い。是非早急にしてもらいたい。(大船渡市 70代以上 男性)
215	大船渡市	地元の人より外来者の案内、特に看板、誘導等、重視する必要がある。(大船渡市 60代 男性)
216	陸前高田市	夜に避難をしたが体育館で毛布もなく、とても子供達が寒がり車に寝たこともあり、家で寝たいと泣いて困りました。(陸前高田市 30代 女性)
217	陸前高田市	津波体験者の声を聞くと、防波堤があるから大丈夫だとよく言うので、避難訓練などは不参加が多い。体験者でも防波堤に頼っているのだから未経験者の私は、なおさらです。(陸前高田市 30代 女性)
218	陸前高田市	津波訓練に多々参加しているが、津波の体験をしているお年寄りの方が多いようだ。いつ災害が来るのかわからないので、子供達への教育を充実してほしいと思います。(陸前高田市 40代 女性)
219	陸前高田市	津波情報がテレビで放送されてしばらくたってから、町内で放送されるのももう少し早く放送できないのでしょうか。(陸前高田市 40代)
220	陸前高田市	防波堤、水門等の施設が整備されていますが、もしも津波が押し寄せてきた場合、どの程度のものかきてみなければ何とも言えない。(陸前高田市 60代 男性)
221	陸前高田市	堤防の老朽化が目立つので整備してほしい。(陸前高田市 40代 女性)
222	陸前高田市	大金をかけて施設・設備を整備することも大切だとは思いますが、それよりも小学校から津波に関する知識の教育にもっともっと力を入れるべきだと思う。(陸前高田市 30代 男性)
223	陸前高田市	私の地元での避難場所等は詳しくわかり、避難できるが、高田松原付近の避難道路、場所が遠いように思います。近くの高台、又は高い建物等を利用できるようにしてほしい。(陸前高田市 60代 男性)
224	陸前高田市	気仙川の河口が広げられた結果、満潮時には河口から数百メートルも上流まで波が打ち寄せ、堤防半分以上の高さにまで波が来るようになった。しかも、堤防のあちこちに亀裂が入っていて、津波などの大きな力が加わったとき、持ち堪えられるかどうか疑問に感じる。(陸前高田市 50代 女性)
225	陸前高田市	世界的に海面が上昇している。過去10年、20年、30年～50年の海面と現在を比較検討する必要がある。調査後、防波堤の嵩上げ工事、低地住宅の高所移転等、国家レベル、地方行政レベルを問わず早期の立ち上げと促進を望むものである。(陸前高田市 50代 男性)
226	陸前高田市	気仙川の堤防はチリ地震津波の後、改修されたが、河口の西側の堤防は波打ち際のコンクリートが痛み、ボロボロの状態になっている。早急な対策をお願いしたい。(陸前高田市 60代 男性)
227	陸前高田市	気仙川河口(川口)が人的に大幅に手を加えられ、これまでの川が潮の満潮により、川口から上流へ1km～2kmまで塩水が上がり、海水化しており、以前は川口が砂により狭かったのだが、今では川口の中が以前の数倍広くなったので、津波の心配が頭から離れない。河口防波堤が必要です。(陸前高田市 60代 女性)